

HUMAN RESOURCES SOLUTION

人材をテーマに、人・社会・未来に貢献するクイック

第24期事業報告書

平成15年4月1日～平成16年3月31日

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
配当金支払株主確定日	利益配当金 3月31日
決算公告掲載	当社ホームページ
名義書換代理人	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
(連絡先)	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話 03-5391-1900
同取次所 (お知らせ)	三菱信託銀行株式会社 全国各支店 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取および買増請求に必要な各用紙、 および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人の フリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますのでご利用下さい。
1単元の株式の数	1,000株
単元未満株式の買取	上記名義書換代理人の事務取扱場所および同取次所でお取り扱いいたします。
本誌掲載記事に関する お問い合わせ	株式会社クイック 社長室 Tel:06-6375-0061 Fax:06-6371-7429 E-mail:info-kabu@919.jp



TOP Message

株主のみなさまへ

成長のための第二創業期に向けて邁進してまいります。



代表取締役社長 和納 勉

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より暖かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第24期事業年度(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)の事業報告書をお届けさせていただきます。

クイックグループの現在をお伝えするとともに、今後の経営計画についてご説明させていただきます。

2003年度の業績について

グループ力の強化により、業績は急回復いたしました。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、株価の上昇など一部で明るい材料が出てまいりましたが、景気の浮揚力はまだまだ弱く、イラク戦争の影響による米国経済の先行き不安等引き続き景気回復への不透明感が残る状況で始まりました。

しかしながら昨年末より輸出と設備投資関連業種を中心に回復基調が見られ、春先には企業収益の改善が非製造

業や中小企業にも広まってまいりました。

労働市場におきましても、企業のリストラが一段落したことにより中高年男性の失業率が低下し、女性においても医療・福祉分野を中心に雇用が伸びた結果、完全失業率は4.7%と3年ぶりの低水準となりました。また、求職者一人当たりの求人割合を示す有効求人倍率も0.69倍と3年ぶりに上昇し、雇用情勢にも改善の兆しが見られました。

TOP Message



このような環境下におきまして、当社グループは昨年10月の一部会社分割(テクノサービス部)などによりグループ経営の効率化を図り各事業における販売体制の強化に努め、引き続き積極的な営業活動を行ってまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高7,676百万円(前年同期比45.3%増)、営業利益386百万円(同244.0%増)、経常利益408百万円(同291.8%増)、当期純利益212百万円(同492.3%増)となりました。なお、配当金につきましては、連結決算の業績を反映し従来より5円増配し、年15円とさせていただきます。

また2004年度より中間配当の実施をいたします。

今後の見通しについて

中堅、大手を中心に求人意欲は増大。求人広告部門の業績拡大が続いております。景気回復基調は続くものの、努力を怠らず成長を続けてまいります。

リクルーティング広告部門は昨年の秋以降、各地区ともに大幅に業績を伸ばしました。

関西地区での求人回復は、デジタル家電が好調であること、アジア向け輸出が好調であることなどが要因と思われます。東海地区での回復は大手自動車製造業の好業績や、中部国際空港、愛知万博、駅前再開発などが大きく影響しているでしょう。関東地区では品川営業所設立や、横浜営業所でのリテール営業強化が、新規顧客獲得に大きく繋がりました。このように各地域で景況の回復感が出てまいりました。リストラを早々と

完成させた大手企業や、伸び盛りの中堅企業などを中心に、採用活動は旺盛になってきています。

このような状況の中、当グループは来期以降も努力を怠らず、より一層成長を続けて行きたいと考えています。既存顧客のニーズに即応するだけでなく、積極的に新規顧客の開拓を進めてまいります。また、当社グループが営む各種事業を融合し、顧客にとっての最適なサービスの構築とその提供に努めてまいります。

TOP Message

セグメント別状況

クイックグループ 今後の取り組みについて

成長事業への投資、成熟事業への効率化といった両面を追求。

25期からの計画についてですが、選択と集中による効率の良い経営、すなわちこれからの成長事業への投資と、成熟している事業の効率化の両方を追求してまいります。

具体的には

- 人材サービス部門(クイック人材紹介部、アウトソーシング部門である(株)キャリアシステム)の投資、育成
- リクルーティング広告部門のコンサルティング力強化(売れる仕組み作り)とリテール広告部門のさらなる強化
- (株)ケー・シー・シー地域情報ビジネスの地方展開
- (株)アイ・キュー新情報コンテンツの開発
- 海外拠点(特に上海)のグループ収益貢献といった目標を掲げてまいります。

各事業にメリハリを付けた、投資、育成、強化を行います。特に我々の主力事業であるリクルーティング広告事業では、優秀な人材の採用や育成、活用といった顧客の課題にお応えできるよう、営業一人一人がコンサルティング営業を行っていき必要があります。また、人材紹介部を中心に、営業体制の整備を推進してまいります。総合人材サービス業の重要性は今後益々高まっていくことでしょう。

内部管理体制の強化も重要な経営課題。

内部管理体制を強化していくために以下のような目標も掲げております。

- クイックグループ全体への第三次基幹業務システムの導入
- 新人事評価システムの定着、運用
- 階層別人材育成の強化
これらは昨年来少しづつではありますが強化してきた施策です。今後も引き続き追及してまいります。

日本の人事部から世界の人事部へ。

ここ数年来、当社のビジョンである『日本の人事部』そして『世界の人事部』構想へ向けて着々と歩んでまいりました。クイックグループのビジネスモデルも徐々に変化いたしておりますが、さらに今後2～3年でより大きな変化を遂げるでしょう。“成長のための第二創業期にしていく”ということが大きな経営課題です。『人材と情報ビジネスを通じて社会に貢献して行く』、この事業理念にそったビジネスに、第二創業へ向けて我々は果敢に取り組んでいきたいと考えております。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

リクルーティング広告事業

求人マーケット環境の回復とリテール営業の推進により新規取引増加

品川営業所の開設や、大阪・名古屋地区における人員増強により販売体制を強化し、アルバイト・パートおよび特定地域に特化した低価格媒体を中心としたリテールマーケットの開拓に積極的に取り組んでまいりました。これに加え、昨年末からの景気の回復基調に合わせ各企業の採用マインドが改善されたことにより、従来からの中途採用広告を中心に大幅に取り扱い件数が増加し、下半期は前年を上回る売上を計上することができました。

その結果、売上高は4,303百万円(前年同期比9.8%増)、営業利益は683百万円(同37.8%増)となりました。

人材サービス事業

業績回復へ

人材紹介事業におきましては、引き続きキャリアコンサルタントの強化、転職希望者の情報インフラ整備等に努めてまいりました。これにより成約件数は、昨年末からの景気の回復基調にあわせ前年を上回る件数となりましたが、1件あたりの成約単価が抑えられたことにより、当期の売上高は微増となりました。

アウトソーシング事業におきましては、建築・土木関連の請負業務が前期に引き続きゼネコン業界の不況により引合い件数が減少し、また請負期間も短縮したことにより売上は伸び悩みました。しかしながら、昨今における厳しい経営環境の中、各企業が固定費削減を進め効率経営を目指したことにより企業のアウトソーシング化が促進され、特定派遣業務および名古屋地区におけるコンピューター関連、保守メンテナンス・修理のカスタマーサポート業務の売上が拡大し、前年を上回る売上を計上することができました。以上の結果、売上高は1,328百万円(前年同期比47.9%増)、営業利益は13百万円(前年同期は7百万円の営業損失)となりました。

情報出版事業

新規媒体等積極展開へ

「金沢情報」「富山情報」等の無料宅配生活情報誌の配布エリアを拡大し、また郊外型大型ショッピングセンターへの設置をも開始するなど読者数増加・認知度向上に努めた結果、発行部数が増加し、広告掲載収入も堅調に推移いたしました。「結婚賛歌」等の季刊誌につきましては、定期的なテレビコマーシャル展開により認知度が向上し、売上も順調に推移いたしました。その結果、売上高は1,602百万円、営業利益は55百万円となりました。

IT事業

営業利益確保へ転換

主力事業の「人材バンクネット」が、回復基調となりましたが各種インターネット広告等が伸び悩み、前年を下回る結果となり、売上高は441百万円(前年同期比4.6%減)となりました。一方原価や経費の見直しを行った結果、営業利益は34百万円(前年同期は18百万円の営業損失)となりました。

2004年1月～2004年3月までの
クイックグループ NEWS
TOPICS

「人事はヒトゴトにあらず」が
ご好評をいただいております



当社社長 和納 勉の著書「人事はヒトゴトにあらず」が、紀伊国屋Book Webの単行本週間(3月15日～3月21日)ベストセラーで第15位、梅田本店Webの週間ベストセラーにおいては第2位にランクインいたしました。その他、旭屋書店Webでは第13位、丸善書店の週間ランキングでは第6位とそれぞれ上位にランクインしています。好調な売れ行きで、近々第二稿の出版も予定しております。

クイックのホームページが、リニューアルオープン



2月にクイックのホームページがリニューアルオープンいたしました。株主の皆様への情報の充実化を図るとともに、和納社長のインタビュー動画なども加え、より一層クイックを身近に感じていただけるようになりました。今後とも、迅速かつわかりやすい情報のご提供に努めて参ります。

(株)ケー・シー・シーでCI導入

旧KCCのロゴを、クイックグループのロゴに変更。玄関や受付なども新しくなりました。グループとしての強化をより一層推進してまいります。



KCC金沢本社



本社受付玄関前

KCCメディア、更なる地域展開

KCC発行のフリーペーパー4誌



- ・金沢情報発行部数 16.5万部 → 18万部へ
- ・富山情報発行部数 11万部 → 12万部へ
- ・新潟情報発行部数 17万部 → 17.8万部へ
- ・福井情報発行部数 12万部 → 12万部

「マイホーム いしかわ」では、賃貸物件探しのユーザーの傾向が、有料雑誌からインターネットに変わりつつある中、このリフォームページ新設により賃貸ページを削除して、購読者の年齢ターゲットゾーンを「10代後半から40代前半」⇒「20代中盤から50代」へと広げました。

生まれ変わった住宅情報誌



新築からリフォームまで
これ一冊でまるわかり!!
「マイホーム いしかわ」

(株)ケー・シー・シー発行のフリーペーパー誌、「金沢情報」、「富山情報」、「新潟情報」、「福井情報」の発行部数を増加いたしました。これまでカバーしていなかった地域にも流通を広め、エリアカバー率をより一層UPさせました。

また同じく(株)ケー・シー・シー発行の月刊誌「ハウジング パル」が3月号より「マイホーム いしかわ」へと生まれ変わりました。「マイホーム いしかわ」では、リフォーム需要の増加に対応するために、石川県内のリフォームの実例紹介や、リフォーム業者紹介を中心としたリフォームページを新設しています。

また、住宅イベント情報をメインとしたより多くの地元の新築・リフォーム・不動産情報を充実させるため、発行エリアを石川・富山から石川のみに限定いたしました。

(株)リクルート HRマーケティング関西の最優秀代理店賞を受賞

リクルーティング広告部門は市況の回復もあって東・名・阪ともに好業績を上げました。中でも関西地区は特に好調で、営業ランキング各クラスのTOPをクイックの社員が独占する中、(株)リクルート HR(人材総合サービス)マーケティング関西の1期第4四半期において、最優秀代理店賞を受賞いたしました。

また、同じく(株)リクルートが主催する「ベストプラクティスコンテスト」においても、代理店各社の多数のエントリーの中から、クイックの作品が最優秀賞に選ばれました。この賞はリクルート内の審査におい



大阪リクルーティング営業部のメンバー
(リクルート主催:代理店キックオフ表彰式にて)

Financial DATA

■決算概要(連結)

貸借対照表

(単位:百万円)			(単位:百万円)		
科目	当期 (平成16年3月31日現在)	前期 (平成15年3月31日現在)	科目	当期 (平成16年3月31日現在)	前期 (平成15年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	2,619	2,164	流動負債	1,820	1,435
現金及び預金①	1,131	816	支払手形及び買掛金	909	740
受取手形及び売掛金	1,116	916	短期借入金	103	105
有価証券	191	301	1年以内返済予定長期借入金	153	168
繰延税金資産	85	59	未払法人税等	175	44
その他	102	83	賞与引当金	134	86
貸倒引当金	△ 9	△ 12	その他	344	289
固定資産	1,373	1,460	固定負債	516	709
有形固定資産	726	750	長期借入金	343	491
建物及び構築物	418	425	退職給付引当金	47	45
土地	285	285	役員退職慰労引当金	122	170
その他	22	39	その他	2	2
無形固定資産	172	206	負債合計	2,336	2,145
投資その他の資産	473	503	(少数株主持分)	4	—
投資有価証券	110	153	(資本の部)		
繰延税金資産	119	148	資本金	328	328
その他	276	247	資本剰余金	248	248
貸倒引当金	△ 33	△ 45	利益剰余金	1,083	926
資産合計	3,992	3,625	その他	△ 10	△ 24
			資本合計	1,650	1,479
			負債・少数株主持分及び資本合計	3,992	3,625

POINT解説

① 営業キャッシュ・フローが改善しました。

② 株・ケ・シー・シーならびに(株)キャリアシステムのグループ化により1,950百万円売上高が増加しました。

※表示金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

損益計算書

(単位:百万円)			(単位:百万円)		
科目	当期 (平成16年3月31日)	前期 (平成15年3月31日)	科目	当期 (平成16年3月31日)	前期 (平成15年3月31日)
営業収益②	7,676	5,282	税金等調整前当期純利益	409	84
営業費用	7,290	5,170	その他	44	70
営業利益	386	112	小計	454	155
営業外収益	44	14	法人税等の支払額	△ 73	△ 148
営業外費用	21	22	その他	△ 9	△ 3
経常利益	408	104	営業活動によるキャッシュ・フロー	371	2
特別利益	5	5	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 34	△ 483
特別損失	4	25	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 207	140
税金等調整前当期純利益	409	84	現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2	△ 0
法人税、住民税及び事業税	203	57	現金及び現金同等物の増減額	127	△ 340
法人税等調整額	0	△ 9	現金及び現金同等物の期首残高	1,059	1,393
少数株主損失	6	—	新規連結に伴う現金及び現金同等物の増減額	16	6
当期純利益	212	35	現金及び現金同等物の期末残高	1,203	1,059

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)		
科目	当期 (平成16年3月31日)	前期 (平成15年3月31日)
税金等調整前当期純利益	409	84
その他	44	70
小計	454	155
法人税等の支払額	△ 73	△ 148
その他	△ 9	△ 3
営業活動によるキャッシュ・フロー	371	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 34	△ 483
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 207	140
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	127	△ 340
現金及び現金同等物の期首残高	1,059	1,393
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増減額	16	6
現金及び現金同等物の期末残高	1,203	1,059

⑦

Financial DATA

■決算概要(単体)

貸借対照表

(単位:百万円)			(単位:百万円)		
科目	当期 (平成16年3月31日現在)	前期 (平成15年3月31日現在)	科目	当期 (平成16年3月31日現在)	前期 (平成15年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	1,781	1,607	流動負債	1,205	979
現金及び預金	675	547	支払手形及び買掛金	701	557
受取手形及び売掛金	731	635	短期借入金	103	105
有価証券	191	301	1年以内返済予定長期借入金	77	99
繰延税金資産	50	27	未払法人税等	109	44
その他	132	99	賞与引当金	90	63
貸倒引当金	△ 0	△ 4	その他	122	109
固定資産	1,277	1,201	固定負債	263	348
有形固定資産	245	248	長期借入金	133	210
建物及び構築物	98	99	退職給付引当金	9	17
土地	134	134	役員退職慰労引当金	120	120
その他	12	14	負債合計	1,468	1,328
無形固定資産	17	19	(資本の部)		
投資その他の資産	1,015	933	資本金	328	328
投資有価証券	110	153	資本剰余金	248	248
関係会社株式①	606	507	利益剰余金	1,018	925
繰延税金資産	87	100	その他有価証券評価差額金	2	△ 0
その他	238	213	自己株式②	△ 8	△ 21
貸倒引当金	△ 29	△ 41	資本合計	1,590	1,480
資産合計	3,058	2,808	負債及び資本合計	3,058	2,808

POINT解説

① a)上海クイックマイツ有限公司を設立しました。

b)テクノサービス部を会社分割により(株)キャリアシステムに承継しました。

② 自己株式数は20,448株であります。

③ テクノサービス部の上期に含まれる売上高は270百万円でした。

損益計算書

(単位:百万円)		
科目	当期 (平成16年3月31日)	前期 (平成15年3月31日)
営業収益③	4,858	4,737
営業費用	4,593	4,594
営業利益	265	143
営業外収益	30	27
営業外費用	8	21
経常利益	286	148
特別利益	3	5
特別損失	17	46
税引前当期純利益	272	107
法人税、住民税及び事業税	137	57
法人税等調整額	△ 13	△ 9
当期純利益	148	59
前期繰越利益	22	9
自己株式処分差損	8	—
当期末処分利益	162	68

利益処分計算書

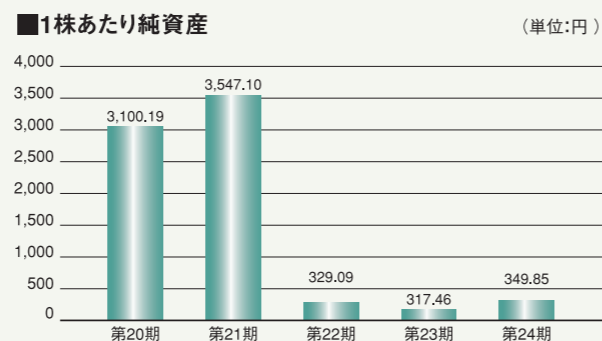
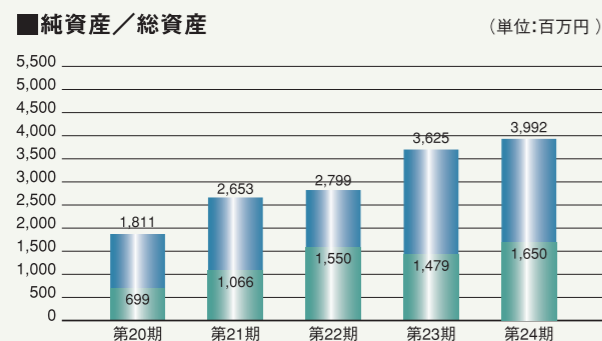
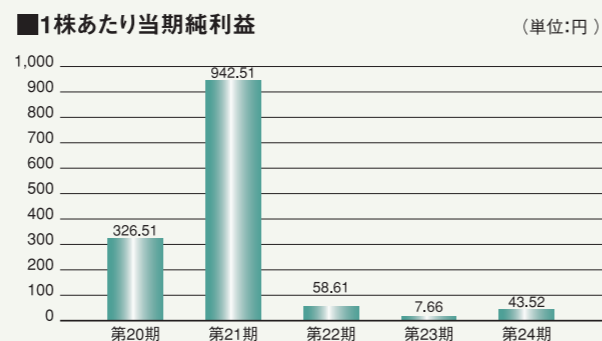
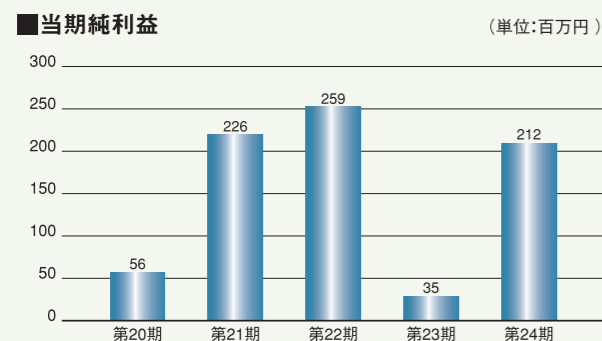
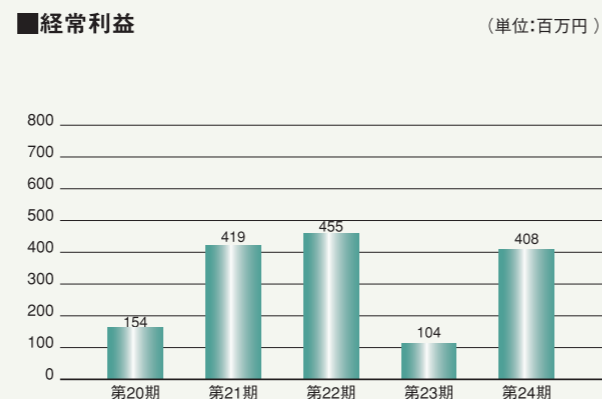
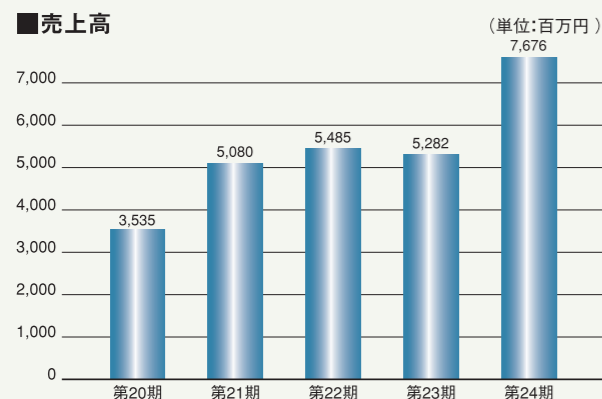
(単位:百万円)		
科目	当期 (平成16年3月31日)	前期 (平成15年3月31日)
当期末処分利益	162	68
利益配当金	70	46
(一株につき)	15円(普通配当)	10円(普通配当)
役員賞与	10	—
別途積立金	30	—
次期繰越利益	51	22

⑧

Financial DATA

■決算概要(連結)

業績推移



(注) 平成13年7月24日付をもって500円額面株式1株を、50円額面株式14株に分割しております。

Information

会社データ (平成16年3月31日現在)

商号 株式会社クイック
 英文社名 **QUICK CO.,LTD.**
 設立 昭和55年9月
 事業内容 総合人材サービス業
 資本金 **328,365,102円**
 連結従業員数 **387名** (臨時雇用者90名を含む)
 所在地 〒530-0071
 大阪市北区中津1-11-1
 中津センタービル
TEL 06-6375-0061 FAX 06-6371-7429
 事業所 東京、名古屋、大阪、横浜、品川
 取引先 全国の主要企業40,500社
 主要連結子会社 株式会社アイ・キュー
 株式会社ケー・シー・シー
 株式会社キャリアシステム
QUICK USA,INC.
 上海クイックマイツ有限公司

役員の状況
 代表取締役社長 和納 勉
 専務取締役 中島 宣明
 取締役 藤原 功一
 取締役 池田 友之
 監査役(常勤) 大森 清作
 監査役 菅原 茂比古

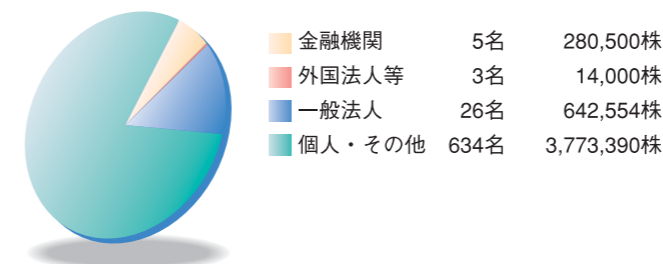
株式の状況 (平成16年3月31日現在)

■発行する株式の総数 **10,000,000株**
 ■発行済株式の総数 **4,710,444株**
 ■株主数 **668名**

■大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
和納 勉	1,204,288	25.5%
(有)アトムプランニング	342,104	7.2%
クイック従業員持株会	324,278	6.8%
中島 宣明	285,326	6.0%
倉地 国明	141,250	2.9%
(株)東京三菱銀行	94,500	2.0%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	85,000	1.8%
(株)リクルート	70,000	1.4%
竹田 和平	70,000	1.4%
—	62,320	1.3%

■所有者別株式分布



■所有株式数別株式分布

